

## 技術・家庭科「家庭分野」 中学校第1学年カリキュラム

月	題材・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	小学校での既習事項	円滑な接続への留意事項	関連する学習事項	備考 ■実践例 ◆課題
4	家庭分野ガイダンス		2	小学校家庭科の学習をふまえて、3学年間の見通しを持たせることが重要である。		○小学校の家庭科学習を振り返りながら、これからの学習内容を把握させる。		
5	A 家族・家庭と子どもの成長 未来の家族のために				小学校第5学年 「見つめてみようわたしと家族の生活」	○家庭生活の機能を十分理解させ、展望をもって家庭生活を送ろうとする意識を高めさせる。		■家族との関わりや日常生活のさまざまな場面について、家族の会話をロールプレイングする。
6	1 わたしの成長と家族	A(1)ア	2		「できるようになったかな 家庭の仕事」			
7	2 わたしたちと家族・家庭と地域	A(2)アイ	2		「家族と ほっとタイム」 小学校第6学年 「くふうしよう 朝の生活」 「考えよう これからの生活」			
8								
9	C 衣生活・住生活と自立 未来の自分に向かって衣				小学校第5学年 「寒い季節を快適に」	○衣服と社会のかかわりを理解させ、目的に応じた着用を工夫させる。		■カラーコーディネイトから、自分に似合う色や友達に似合う色を見つけ発表する。  ■震災を振り返り、災害への備えについて考える。自宅の危険箇所のチェックを行い、改善策を考える。  ■身近にある布を生かした小物(ファイルカバー)の製作。製作後、家庭科ファイルに使用する。
10	チャレンジ				「かたづけよう 身の回り」	○自分や家族の生活行為から、家族の住空間について考えさせる。		
11	1 自分らしく着る・快適に着る	C(1)アイウ	4		小学校第6学年 「暑い季節を快適に」	○家庭内の事故や自然災害の情報から、室内環境の安全性についての意識を高めるよう工夫する		
12	2 快適に住まう	C(2)アイ	4		「きれいにしよう クリーン大作戦」	○小学校での学習内容を踏まえ、室内空気の汚染や音の影響が快適な住まいに影響することに気付かせる。		
	3 生活を豊かにする物をつくる(ファイルカバーの製作)	C(3)ア	7		小学校第5学年 「はじめてみよう ソーイング」	○小学校での学習で身につけた、基礎的な縫い方、ボタンやスナップつけの技術を生かせるよう支援する。		
1	B 食生活と自立				小学校第5学年 「元気な毎日と食べ物」	○小学校で学習した五大栄養素のはたらきと、3つの食品のグループと多く含まれる栄養素を想起させ、6つの基礎食品群につなげる。		■献立作成ソフトを利用し、コンピュータでの献立作成を行う。また、自分の食生活診断を行う。  ■野菜の調理(豚汁・ほうれん草のごま和え)をする。実技テストを含む。
2	未来の自分に向かって食	B(1)アイ	6	食生活の内容(調理)に重点を置き、習得・家庭生活での実践・探求の連続性を生かした学習活動により、確かな力を身につけさせることが重要である。	小学校第6学年 「くふうしよう 楽しい食事」			
3	レンジ	(2)アイ			小学校第5学年 「はじめてみよう クッキング」	○小学校で習得した知識や技術を活用した調理(野菜の切り方・青菜のゆで方)を行い、家庭実践に生かせるよう支援する。		
	1 健康と食生活	(3)ア	3		小学校第6学年 「考えよう これからの生活」			
	2 食品の選択と保存	B(1)イ						
	3 調理をしよう	(2)ウ(3)ウ	5					
		B(3)アイウ						
	合計		35					

## 技術・家庭科「家庭分野」 中学校第2学年カリキュラム

月	題材・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	小学校での既習事項	円滑な接続への留意事項	関連する学習事項	備考 ■実践例 ◆課題
4 5 6 7	B 食生活と自立 3 調理をしよう  4 地域の食材と食文化  家庭実践計画・発表	B(3)アイウ  B(3)イウ	10  2  2	学習したことが実生活で活用されない実態があるため、実技テストを取り入れた調理・身近な食材を使用した繰り返し学習を行い、家庭実践につなげることが重要である。  食生活と自立の学習を振り返り、家庭実践の計画と実践、発表を行い、日常的に家庭で実践してみる態度の育成が必要である。	小学校第6学年 「くふうしよう 楽しい食事」 「考えよう これからの生活」 小学校第5学年 「はじめてみよう クッキング」	○小学校での学習を振り返る場面として、地域の産物を使用した調理について考えさせる。		■肉の調理(豚肉の生姜焼き・付け合わせ、コンソメスープ) 実技テストをする。 ■魚の調理(魚の種類は状況により選択)班ごとのオリジナル料理を作る。 ■地域の産物やその産物を活用した食文化について調べ学習をする。 ■給食の材料について学習する。(栄養職員とのTT) ■家族構成と嗜好・栄養を考えた調理計画と実践のレポート作成と発表会をする。
8 9 10 11 12	D 身近な消費生活と環境 賢い消費者への一歩 1 家庭生活と消費 2 商品の選択と購入  3 よりよい消費生活のために  4 環境に配慮した生活  家庭実践計画・発表	D(1)アイ  D(1)アイ  D(2)ア  D(1)アイ D(2)ア	1 4 4 2 2		小学校第5学年 「じょうずに使おう 物やお金」  小学校第6学年 「考えよう これからの生活」	○小学校第5学年「じょうずに使おう 物やお金」を想起させる。ロールプレイングなどを行うことにより、実際の消費行動での思考力や判断力を養うよう支援する。ここで扱う商品は学用品や食品、衣類など、生徒の生活に身近なものとする。		■ロールプレイングによる商品購入疑似体験 ■悪徳商法撃退ゲーム
1 2 3	A 家族・家庭と子どもの成長 未来の家族のために 3 幼児の生活と遊び	A(3)アイ	8			○幼児についての学習は、小学校の内容にはない。そのため、既習事項の家庭や家族と関連させ、子どもが育つ環境としての家庭や家族の大切さに気づかせるようにする。	中学校第1学年 A 家族・家庭と子どもの成長 1 わたしの成長と家族 2 わたしたちと家族・家庭と地域	■自分の成長の様子や当時の調査を行い、自分史を作成する。 ■幼児の発達段階に応じた遊びを考え、遊び体験をする。 ■幼児のおもちゃの製作
	合 計		35					

## 技術・家庭科「家庭分野」 中学校第3学年カリキュラム

月	題材・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	小学校での既習事項	円滑な接続への留意事項	関連する学習事項	備考 ■実践例 ◆課題
4 5 6 7 8 9 10 11	A家族・家庭と子どもの成長 4 幼児とのふれあい  5 これからのわたしと家族	A(3)ウ  A(3)エ A(2)アイ	1.2  5		小学校第6学年 「考えよう これからの生活」	○学習してきたことを生かし、安全を第一に考え、幼児と楽しくかかわるための工夫をさせる。視聴覚教材を活用し、幼児の様子を観察させながらロールプレイングなどを行い、実習につなげる支援をする。	第2学年 A家族・家庭と子どもの成長 3 幼児の生活と遊び	■幼稚園・保育園でのふれあい体験実習計画作成・事後のレポート作成・発表会をする。
12 1 2 3	未来に向かって (家庭科学習のまとめ)		0.5	中学校3年間の家庭科学習を振り返り、自立を目指して、生活を切り開いていく態度の育成を図る。また、豊かな生活(物質のみならず、ゆたかな気持ち、精神の安定)を求め、探求心・向上心を持ち、人生設計をしていくことの大切さを伝えることが必要である			中学校第1学年 家庭分野ガイダンス	
	合計		17.5					